

厚労省 令和元年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業

～「動機づけ面接」講演のご案内～

拝啓

寒冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

福島県立医科大学 疼痛医学講座が取り組んでいる「厚労省 慢性疼痛診療体制構築モデル事業」につきまして、本年度の事業では東北6県の幹事の先生方にご協力を頂き、仙台・盛岡を中心に講演会・研修会を開催して参りました。

今年度は、今まで以上に多くの先生方から参加のお申込みを頂き、どの回も盛会のうちに終わることができました。ご参加頂いた皆様には、この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

さて、今年度はもう一つ、講演会を企画致しました。

昨年度も好評を頂きました、札幌学院大学人文学部教授 北田雅子先生による「動機づけ面接」講演です。

慢性疼痛の問題を抱える患者様への対応はもちろんのこと、日常の臨床現場で活用できるノウハウが詰まった講演です。是非、多くの先生方にご聴講頂きたく存じます。

(※講演会詳細は同封の講演会案内をご覧ください。)

今後も、診療モデルの構築及び治療技術の向上に向けて、東北の皆様方と取り組んでいきたいと考えております。引き続き、よろしくお願い致します。

なお、本事業に関する問い合わせ先は、福島県立医科大学医学部疼痛医学講座(kozumage@fmu.ac.jp)になっております。メールでお問い合わせください。

敬 具

2019年12月

福島県立医科大学医学部疼痛医学講座
TEL&FAX：024-547-1987
E-mail：kozumage@fmu.ac.jp
担当：高槻 梢

「動機づけ面接」講演

患者さんから前向きな 意欲を引き出し、 治療を促進する関わり方

講師 北田 雅子 先生



- 札幌学院大学 人文学部 prof. PhD.
- 国立研究開発法人国立がん研究センター
がん対策情報センター たばこ政策支援部 客員研究員
- 動機づけ面接調査研究所 代表
- Member of Motivational
Interviewing Network of Trainers (MINTトレーナー)

著書「医療スタッフのための動機づけ面接法 逆引きMI学習帳」は、2016年9月に発行されてから、初版は第5刷。現在もベストセラーとして多くの方に読まれている。



動機づけ面接とは

動機づけ面接法(以下MI)は、問題飲酒や薬物などの依存症治療から実証研究を経て開発された面談スタイルです。

MIにおける「動機づけ」は動機「潰け」ではなく、変化のための動機づけはクライアント自身から引き出します。MIの特徴は、人の行動が変わる背景にある両面性(変わりたいけど変わりたくない)を丁寧に扱い、個々人の内的動機や価値観を引き出し、行動変容の準備段階に合わせ、変化の方向へ導く「協働型」のスタイルであり、援助者側からの情報提供を主体とした指導、強制や説得という「指導型」とは異なります。来談者中心療法と目的指向性を併せ持ち、なおかつクライアントとの協働的なスタイルであるMIは、これまでの実証的なエビデンスの集積結果から、指導型よりも介入効果が高い事が示されています。

座長 笠原 諭 先生



- 福島県立医科大学疼痛医学講座/
東京大学附属病院麻酔科痛みセンター
- 動機づけ面接調査研究所 理事
- 麻酔科標榜医
- 精神保健指定医
- 日本精神神経学会 精神科専門医
- 臨床心理士/公認心理師

著書 「しつこい痛みは「日記」で治る」
「長引く腰痛は「脳」の錯覚、だった
名医が教える最新の腰痛改善・克服法」
「腰痛は脳で治す！」

日時 2020年

1月26日(日)

15:00~17:00 14:30受付開始

対象 医療従事者

参加費 **無料**

申込 参加者氏名・ご所属、職種を明記の上、
kozumage@fmu.ac.jp までご連絡ください。

[締切 1月22日(水)]

会場 **TKPガーデンシティ
(PREMIUM仙台西口) ホール8A**
仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ8F



問い合わせ先 福島県立医科大学 疼痛医学講座 担当:高槻
TEL・FAX 024-547-1987 E-mail kozumage@fmu.ac.jp

主催 福島県立医科大学 医学部疼痛医学講座 後援 公益財団法人 星総合病院